

次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業

市長ヒアリング資料
(平成24年12月25日)

要求総額 309,226千円

1 事業概要

総合特区制度を活用し、「徹底的な低炭素化」「エネルギーセキュリティの確保」「誰もが自由に移動できる手段の確保」に取組み、「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する環境未来都市」の実現を目指す。

2 個別実施事業

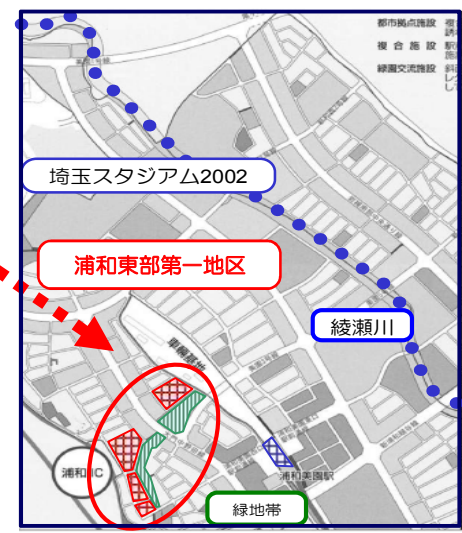
(1)スマートホーム・コミュニティの普及

要求額 34,000千円

住宅に創エネ、蓄エネ、省エネ設備を導入するとともに、住宅及び地域で使用エネルギーの最適化を図る。また、災害時のエネルギーセキュリティを確保する。

先行実施場所

浦和東部第一地区の保留地
(4箇所 面積約2.1ha)



★エネルギー需要予測・マネジメント設計業務 12,000千円

みその地区におけるスマートコミュニティのモデル構築のため、公共施設等を中心とした地域のエネルギー需要・供給ポテンシャルを把握し、エネルギーマネジメントシステムを設計する。

★スマートコミュニティ基盤整備調査設計業務 10,000千円

国土交通省の「先導的都市環境形成促進事業費補助制度」を利用した平成24年度からの継続調査。浦和東部第一地区での100戸のスマートコミュニティ事業の実施にあたり、必要なインフラ整備設計を行う。



★スマートコミュニティ関連事業推進業務 9,000千円

保留地のアイデアコンペの開催、スマートホームに関する新築やリフォームに対する、市としての認証制度の創設及び同制度の運営を行う。



★桜区スマートホームQOL分析業務 3,000千円

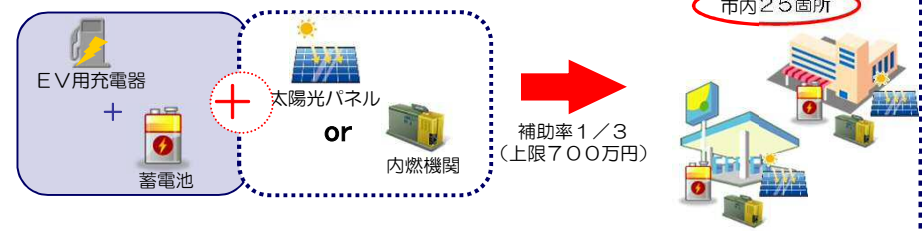
(2)ハイパーエネルギーステーションの整備

要求額 265,000千円

多様な自動車用エネルギー（ガソリン、天然ガス、電気、水素）の供給元を地域ガソリンスタンドに集約し、エネルギーセキュリティを確保したハイパーエネルギーステーションの整備を行う。

★ハイパーエネルギーステーション設置費補助 175,000千円

【経産省補助】①独立型再生可能エネルギー発電システム等対策補助金 ②定置用リチウムイオン蓄電池導入促進対策事業費補助金 ③災害対応型拠点石油基地整備事業費補助金



★ハイパーエネルギーステーションS設置費補助 90,000千円

【経産省補助】(仮称)水素スタンド設置補助



(3)総合特区情報発信・収集事業

要求額 5,067千円

特区事業への企業の積極的な投資・参画や人口増加を促すため、説明会等の対応に、プロモーションDVD、リーフレットの製作や施設内への模型等の設置を行う。



- ★特区事業紹介映像の作成 2,500千円
- ★スマートホーム・コミュニティ俯瞰模型等の作成 2,000千円
- ★特区事業紹介リーフレットの作成 567千円

(4)その他

要求額 5,000千円

- ★環境モデル都市推進等支援委託 5,000千円